

山田クリニック ぽすと

平成22年10月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.eonet.ne.jp/~yamadaclinic>

診察室から

先日の新聞で「コレステロールは高いほうが長生きできる」と日本脂質栄養学会が発表したという記事を読まれた方もたくさんおられるかと思えます。これまで「コレステロール=悪者」であり、長寿を全うするにはコレステロールを低くすることが大切といわれてきました。それで、少し詳しく、今回から3回連続でこの脂質栄養学会の発表した『長寿のためのコレステロールガイドライン』について説明したいと思います。このガイドラインでは、総コレステロール値や悪玉コレステロール(LDL-コレステロール)値が高いと心筋梗塞や脳卒中などの動脈硬化性疾患が起こりやすく、死亡率が高くなるというこれまでの定説が必ずしも正しくないと報告され、逆に総コレステロール値の高い人のほうが、がん死亡率や総死亡率が低いとも報告されています。なぜ、このような結果になったかについては省略しますが、次回からは14章からなるガイドラインを説明しながら、コレステロールとの付き合い方をじっくりと考えてゆきましょう。

検査室より

X線検査の危険はどのくら

X線検査の危険度は、被曝した時の年齢、被曝線量及び被曝した身体の部分によって大きく異なります。年齢は若いほど、線量は多いほど、被曝した部分が生殖器や骨髄(血を作ります)が含まれるほど危険度は高くなります。しかし、X線検査は受けられた個人の危険度をすぐにあらわすものではなく過去に集められたデータで統計上の計算で評価されたものです。ちなみに計算上で、胸の撮影に使われた線量を身体全体に一度に浴びた場合の危険度は、癌が発生する確率(頻度)において10万人に1人以下であるといわれています。しかし、X線検査では、身体中に照射する事は無く必要とされる部分のみであることから、その危険度はさらに低くなります。日常の生活環境での危険要因とを寿命短縮で比較してみますと次の様になります。

- X線検査による被曝: -6日
- 酒: -130日 • コーヒー: -6日 • 自動車事故: -207日
- タバコ: -2,250日 • 肥満(20%): -900日。

トピックス

かりたづら
荻田面



稲刈りがすんだ田は、切り株が規則的に並ぶ幾何学模様ですね。

藁色のほかに混じる暖色もなく、あぜ道に区切られた刈田は、ひと夏の栄えの余韻を抱いて横たわっているようです。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00~12:00 △:水曜日は11:00まで

午後診察 4:00~6:00

ご連絡

インフルエンザの予防接種の時期が近づきました。詳細は受付にてお知らせ致します

